

13 関係機関・団体との連携に関する事項

1) 校友会・親和会との連携

14万人を超える卒業生で構成する「校友会」及び1万8千人を超える在学生の保護者で構成する「親和会」は、本学にとって強力な支援団体である。校友会は、校友相互の交流をはじめ、母校（本学）の発展に寄与することを目的としており、様々な活動において、本学と連携をはかり事業を展開している。親和会は、学生達が教育を受け、誇り高く卒業し社会の一員になることを念願し、本学の様々な活動に対し支援をしている。

両者は、それぞれ、本学と定例の懇談を持ち、目標や課題の共有化をはかりながら、協働による様々な取り組みを行っている。

2007年度の主な取り組みとしては、校友会では、活躍された卒業生に対する「龍谷賞」の贈呈、また在大学生を対象とした「校友会賞」や「論文奨励金」の授与、就職活動支援、福利施設運営等が挙げられる。親和会では、大学懇談会<大阪開催>、全国保護者懇談会、課外活動支援及び奨学事業等が挙げられる。

これらの事業の他、大学、校友会、親和会の三者による共催事業として、次のものを実施した。

●龍谷大学イン大阪（五木寛之氏講演会）

（11月23日（祝）（金） 参加者 2,334名）

●企業業務説明会（税務・会計業：13回開催）

（4月から12月にかけての土曜日を中心に開催 出席学生 200名（学生））

●大学懇談会（大阪）（全国保護者懇談会（大阪会場）、就職講演会）

（7月27日（金） 参加者 684名）

●ホームカミング・デー2007

（10月27日（土）瀬田キャンパス 参加者 200名）

（11月4日（日）深草キャンパス 参加者 1,000名）

2) 浄土真宗本願寺派との連携

本学校法人の設置理念や寄附行為からもわかるとおり、浄土真宗本願寺派との関係は重要である。本法人の発展に係る歴史的経緯を見ても、人的・経済的な側面において浄土真宗本願寺派から様々な支援を受けており、今後も本法人が多様な展開を進めながら社会的支持基盤を確立していくために、浄土真宗本願寺派との連携を強化していくこととなる。

浄土真宗本願寺派では、2011年に迎える親鸞聖人750回大遠忌に向けて「親鸞聖人750回大遠忌宗門長期振興計画」が策定されている。それら浄土真宗本願寺派の事業と本学の創立370周年記念事業において、双方が協力または積極的な連携により実現が可能な事業について、総合的な調整や意見の集約を行うために2006年度に「宗学連携推進協議会」を設置し、検討を進めてきた。

具体的には、宗学連携協議会及び各委員会等に本学教職員を派遣し、宗門長期振興計画において掲げられている、仏教や本願寺等に関する学術資料や文化財の収集保存、調査研究、公開等を目的とし

た「龍谷ミュージアム」構想、ビハーラ実践活動の拠点となる社会福祉施設の建設、国際貢献や社会的活動を推進するNGOの設立、文化財の保護と活用を目指すデジタルアーカイブ事業等について協議検討を行い、協力体制を強化した。

3) 龍谷総合学園との連携

親鸞聖人の精神・浄土真宗の教えを建学の精神とする学園が、それぞれの個性を生かしつつ、相互の連携を密にしながら発展することを目的に「龍谷総合学園」が組織されており、現在、24 学校法人 63 校（6 大学、2 短期大学、25 高等学校、14 中学校、3 小学校、13 幼稚園）が加盟している。

2006 年度に、加盟校の学校間連携に関する諸事業を統括する中核機関として、生徒・学生及び教職員の交流を通じ、総合学園と各学校の教育・学習活動の活性化を促すための事業の企画・推進を目的とした「龍谷総合学園学校間連携推進委員会」が設置された。本学は龍谷総合学園の中心校として、同委員会に携わっている。今後も、各種研修会、研究会、協議会等にも積極的に参加し、龍谷総合学園の発展に寄与できるよう努めることとする。

4) 仏教系大学会議との連携

本学が加盟している「仏教系大学会議」は現在、68 の大学・短期大学で組織されており、建学の理念を仏教におく全国の仏教系大学が、それぞれの個性を尊重しつつ各大学間の連携を密にし、各大学の充実発展をはかるとともに高等教育機関としての社会的責務を遂行することを目的としている。

本学は、1994 年の設立当初より幹事校（愛知学院大学、大谷大学、高野山大学、駒澤大学、淑徳短期大学、大正大学、兵庫大学、佛教大学、立正大学、龍谷大学）として参画しており、幹事である学長が本会議の運営に主体的に携わっている。

本会議は毎年度、研修会の開催及び機関紙「如是我聞」の発行を行っており、2007 年度においては、代表幹事校である駒澤大学を中心に、淑徳短期大学を研修担当校、高野山大学を研修会場担当校として各事業が実施された。

5) その他

<私立大学連盟>

私立大学連盟（以下「連盟」という）は、私立大学の振興等を目的として設置された社団法人であり、現在 126 の大学が加盟している。本学は、教育研究環境の向上と経営基盤の確立に資することを目的に、連盟に加盟しており、連盟の方向性や情報を敏速かつ的確に収集するために、積極的に諸委員等を派遣している。

2007 年度においても、私大連事業（研修等）への一般参画だけでなく、本学教職員を運営委員等として積極的に派遣した。主なものを以下に記載する。

- 教育研究委員会 FD 分科会（文学部准教授）
- 人文・社会科学分野の研究促進に関する協議会（研究部長、研究部課長）
- 大学評価委員会大学評価推進会議実施委員会（法学部教務課長）
- キャリアディベロップメント研修運営委員会（REC 事務部課長）

